

シリーズ② 学力向上への道

わが校の学力向上の取り組み



中山小学校

中山小学校では、学力向上のため、次のような取り組みをしています。

算数科を中心とした授業づくり

本年度は、算数科を中心として、児童が進んで取り組み、わかる、できる授業づくりをめざしています。

算数の時間は、まず、児童に授業一時間の目標をはっきり持たせ、この時間に何を学ぶのか意識して学習に取り組ませるようにしています。問題に対して、自分の考えを、言葉や絵・図、式などを使ってノートに書いて考えます。そして、自分の考えと友達の考えを比べながら、よりよい考えを見つけしていきます。学習の終わりに、練習問題を解いて、一時間の学習で何がわかり、できるようになったのか振り返る場を設



けています。

また、児童一人一人に応じた指導も必要になるため、本校では、算数の時間は全学級で児童の発達段階や学習の実態等に配慮しながら、単元に応じて、一斉指導や複数の教師による指導、少人数指導などの指導体制も工夫しています。

その他にも、黒板の書き方の工夫やノートの使い方の指導、算数で学習した大切なことを教室掲示するなど、児童の算数の力が伸びるように様々な取り組みをしています。

算数科でつけた、自分で進んで考えたり、友達と協力して問題を解決したりする力を、他の教科でも生かし、意欲を持って学習に取り組むことで学力が向上すると考えています。

学力向上につながる家庭学習

計算力や漢字の書字力など基礎的な力が身に付くよう、月例テストを行っていきます。児童に問題を前もって知らせ、学校だけでなく、家庭学

習でもしつかり練習すると合格できるような意欲を高める工夫もしています。

また、家庭学習にしつかり取り組んでいるノートを参観日に併せて展示する「自学ノート展」も行っています。友達のノートを見て家庭学習の参考にする児童もいます。家庭学習をすることは、基礎的な力や、学習習慣が身に付き、学力向上につながると思っています。

読書活動の充実

朝の活動は、学校図書館で借りた本で読書をしています。さらに、教室には、国語や社会などの学習に関する本や町の図書館、県立図書館から借りた本も多く並んでいます。多様な本をすぐに手に取り、本に親しむことができます。読書活動は学力向上の大きな力となります。

家庭・地域の方の協力

総合的な学習の時間や社会・図工・書写などのゲストティーチャー、読み聞かせや音読会、マラソン大会、スキー教室、クラブ活動のボランティアなど様々な地域の方に来校していただいています。児童の体験や活動

の充実につながるとともに、豊かな心が育つ取り組みとなっています。

また、我が校では、「規則正しい落ち着いた生活が、学習に向かう姿勢を作る」と考えているので、PTAが中心となって「生活がんびり週間」を設け、家庭でもきまり正しい生活ができるよう、学校と一緒に取り組んでいます。

中山小学校では、学校教育目標「確かな学力と豊かな心を持ち、心身ともに健康な子どもを育成」のもと、ここに紹介したもののだけでなく、様々な教育活動を行っています。学校、保護者、地域が協力し合い、児童の学力向上を図っています。

